

江戸時代の天文学

2012年

9月4日^火～10月21日^日

場所：① 大阪市立科学館 展示場4階東側

② 地下1階アトリウム

料金：地下1階アトリウムは、無料

展示場4階東側に、展示場観覧料で
ご覧になれます。

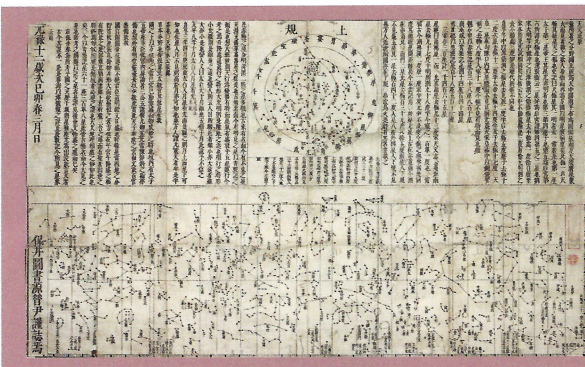
(大人400円、高・大生300円、中学生以下無料)

江戸時代に、日本で初めて国産の暦を作り上げた天文学者・渋川春海の業績を中心に、江戸時代の天文学がどのようなものであったかを資料と共に紹介します。

また、渋川春海を主人公とした映画「天地明察」が9月15日に全国で上映されるのを記念して、地下1階アトリウムにおいて映画撮影で実際に使用された道具類を展示します。



渋川春海が作った星図を一堂に展示!



天文成象

渋川昔尹 1699年
個人蔵

渋川春海の長男昔尹の名義で刊行した星図。伝統的な中国星座に加え、春海、昔尹父子が制定した星座が描かれている。

※渋川春海は若いころから星座の研究に力を入れ、生涯に3点の星図を作成しましたが、本展では、その「天象列次之図」「天文分野之図」「天文成象」を一堂に展示します。

主催：大阪市立科学館

協力：(公財)大阪市博物館協会、大阪歴史博物館、京都大学、映画『天地明察』製作委員会

会場

大阪市立科学館
Osaka Science Museum

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1
電話 06-6444-5656
ホームページ <http://www.sci-museum.jp/>
開館時間 9:30～17:00

アクセス

- 地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」3号出口から西へ約500m
- 京阪中之島線「渡辺橋駅」②出口から南西へ約400m
- 阪神・JR大阪環状線「福島駅」、JR東西線「新福島駅」から南へ約900m
- 市バス53号系統「田蓑橋」バス停下車南へすぐ

休館日

- 毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日に休館)
- 年末年始(12/28～1/4)
- 臨時休館日あり

